

一般社団法人日本肝胆膵外科学会  
2024年(令和6年)度事業報告書

※2024年4月1日～2025年3月末まで

**1: 肝胆膵の外科に関する学術集会の開催**

第36回(2024年)日本肝胆膵外科学会学術集会を開催した。

会長: 会長 大段 秀樹(広島大学病院 消化器外科 教授)

テーマ: Finding Harmony between Science and Art in HBP Surgery ～科学と技術の調和を求めて～

会期: 2024年6月28日(金)・29日(土)

会場: 広島国際会議場

1,200題の演題が集り、参加者は2,116名(うち、現地参加者数は1,607名)であった。

**2: 機関誌の発行**

・発行について

本学会英文機関誌 Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences (JHBPS)を発行し、Monthlyに発刊し、冊子は評議員の先生方に送付した。

31巻4号 2024年4月	1,910部発刊(オンラインジャーナルも含む)
31巻5号 2024年5月	1,910部発刊(オンラインジャーナルも含む)
31巻6号 2024年6月	1,910部発刊(オンラインジャーナルも含む)
31巻7号 2024年7月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)
31巻8号 2024年8月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)
31巻9号 2024年9月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)
31巻10号 2024年10月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)
31巻11号 2024年11月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)
31巻12号 2024年12月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)
32巻1号 2025年1月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)
32巻2号 2025年2月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)
32巻3号 2025年3月	1,890部発刊(オンラインジャーナルも含む)

・Impact Factor について

Impact Factor 3.2(令和6年(2024年6月)発表文)

(Surgery 分野 290誌中 41位)

(Gastroenterology & Hepatology 分野 143誌中 49位)

**3: 2024年6月社員総会終了後の役員変更**

退任監事(2名、五十音順、敬称略)

山上裕機監事、山本雅一監事

退任理事(4名、五十音順、敬称略)

田邊 稔理事、中郡聡夫理事、平野 聡理事、堀口明彦理事

新任監事(2名、五十音順、敬称略)

遠藤 格監事(横浜市立大学)

調 憲監事(群馬大学)

再任理事(14名、五十音順、敬称略)

江口 晋理事(長崎大学)

江口英利理事(大阪大学)

江畑智希理事(名古屋大学)

大塚将之理事(千葉大学)

里井壯平理事(関西医科大学)

庄 雅之理事(奈良県立医科大学)

武富紹信理事(北海道大学)

永川裕一理事(東京医科大学)

永野浩昭理事(山口大学)

中村雅史理事(九州大学)

波多野悦朗理事(京都大学)

長谷川 潔理事(東京大学)

藤井 努(富山大学)

力山敏樹理事(自治医科大学附属さいたま医療センター)

新任理事(6名、五十音順、敬称略)

板野 理理事

大塚隆生理事

岡野圭一理事

齋浦明夫理事

副島雄二理事

丸橋 繁理事

2024年6月28日社員総会終了後の理事会において、本学会代表理事として、大塚将之理事が選任された。また、副理事長として、江口 晋理事が選任された。

#### 4: 2024年6月社員総会終了後の学会幹事変更

再任学会幹事(1名、五十音順、敬称略)

1 進藤 潤一(虎の門病院)

新任学会幹事(4名、五十音順、敬称略)

1 青木 琢(獨協医科大学)

2 加藤 宏之(藤田医科大学ばんだね病院)

3 廣野 誠子(兵庫医科大学)

4 水野 修吾(三重大学)

5 八木 真太郎(金沢大学)

#### 5: 高度技能専門医認定に関する事業

2024年6月

高度技能専門医審査結果について

2024年の高度技能専門医新規申請者について書類審査においては、193名の申請者中160名が合格、33名が不合格となった。主な非認定理由は手術記録(写)の内容の不備や手術適応に疑問がある症例を除くと規定の症例数を満たさないなど。合格率は82.9%。書類審査免除者が51名おり、本年書類審査

を行った142名の合格率は76.8%（142名中109名が合格）となった。

なお、昨年初めて書類審査において複数回不合格となっている申請者の指導医にコメントを送ったところ、前年度不合格であった申請者の合格率が60%から84%に上昇したので成果が見られた。

160名（肝臓30名、膵臓130名）のビデオ審査については、一次審査において合格者2名不合格者1名となった申請者について実施した再審査結果を基に再検討も行き、最終的に71名が合格、89名が不合格となった。なお、書類審査合格者のうち1名は一昨年と同じビデオを提出したために、1名はビデオ審査対象外の高難度部分切除術(S67部分切除)にて申請を行ったためビデオ審査は実施せず不合格の扱いとした。結果、肝臓については28名中10名が合格となり合格率は35.8%、膵臓は130人中61名が合格となり合格率は46.9%、全体では71名が合格、89名が不合格、合格率は44.9%となった。

以上により、193名中71名が新たに高度技能専門医として認定されることとなった。合格率は36.8%であり、昨年の52.5%、一昨年の46.7%より低くなった。

（2024年の高度技能専門医合格者リストは、社員総会資料に記載のとおり）

なお、転移性肝がんに対し亜区域切除を実施する場合は、手術適応を記載することを強く推奨するという案内にとどめてきたが、今後は、手術適応の記載を必須とする。

また、2025年1月の審査より、提出された書類に不備があった場合は不合格とする。書類が不足している場合も事務局からの督促は行わないので申請時はアップロードした内容をよく確認すること。

さらに、いかなる理由があっても、参加登録およびファイルアップロードの遅延は一切認めないので、締め切り時間までに必ずファイルのアップロードを完了すること。ファイルのアップロード途中でも締め切り時間にアップロードが完了していないファイルの提出は認めない。ファイルのアップロードはインターネット環境によっては時間がかかる場合があるので、早めに作業すること。

#### 高度技能専門医更新審査について

2014年および2019年に認定された高度技能専門医に対して、更新申請・審査が行われた。

82名中77名の更新を認める。更新を認めない5名のうち2名は名誉指導医申請を行い、残りの3名のうち2名はコロナ禍の特例により更新の猶予を認めることとしたが、1名については猶予申請の理由がコロナ対応によるものではないため更新を認めないこととした。

なお、昨年更新猶予を認めた1名についても本年の更新を認めた。

#### 高度技能指導医更新審査について

2009年および2014年に認定された高度技能指導医に対して、更新申請・審査が行われた。

116名中97名の更新を認める。更新を認めない19名のうち1名については更新が行われたものの症例不足により非認定となった。11名は名誉指導医申請を行い、残りの5名のうち4名はコロナ禍の特例により更新の猶予を認めることとしたが、1名については猶予申請の理由がコロナ対応によるものではないため更新を認めないこととした。なお、2名については更新申請を行わず資格が失効することに同意した。

なお、昨年更新猶予を認めた13名についても全員本年の更新を認めた。

以上により、2024年審査終了時で、高度技能専門医認定者 654 名、高度技能指導医認定者 420 名となった。

#### 修練施設申請審査について

##### 修練施設新規申請

新規・再認定申請については修練施設 B に新規申請した 17 施設中、10 施設を認定と判断し、7 施設を非認定とした。なお、本年は修練施設 A への新規申請は行われなかった。

##### 修練施設再認定申請

以前に修練施設認定されていたが、更新ができなかった施設や高度技能指導医の不在により認定が取り消しとなった施設のうち 2 施設から再認定申請が行われたが、いずれも非認定となった。

##### 修練施設更新審査結果

更新審査については、手術調査書の 5 年分の数値を基に更新の可否を判断した。

まずは昨年更新を猶予した施設について審査を行った結果、猶予を申請していた 9 施設のうち 2 施設が本年更新を認められた。症例が基準を満たしていない施設については、いずれも再度 1 年間の猶予を認めることとした。2022 年から猶予を認めていた 1 施設については猶予可能な 2 年間を経過したため認定取り消しとする。

2009 年、2014 年および 2019 年に認定された高度技能専門医修練施設のうち更新申請が行われなかった 1 施設を除いた 26 施設について、A 施設のうち 1 施設が A 施設の認定基準を下回ったため、B 施設として更新を認める。また、B 施設のうち 2 施設は症例の合計値が基準を満たしていないため、更新の猶予を認めることとする。その他施設についてはいずれも現在の認定区分にて更新を認めることとする。

なお、更新時に B 施設から A 施設への認定区分の変更を希望した施設が 2 施設あったが 1 施設は症例数が基準を満たしていないため継続して施設 B として認定することとなった。

以上により、2024 年審査終了時で、

高度技能専門医修練施設 A は 139 施設、修練施設 B は 170 施設、計 309 施設となる。

#### 高度技能専門医制度規則資格認定施行細則

以下の通り細則の変更を行った。

##### 第 8 条 1) 抜粋

##### 高難度肝胆膵外科手術

##### 膵臓手術

##### 膵全摘術（残膵全摘も含む）

##### 膵頭十二指腸切除（幽門輪温存を含む）

リンパ節郭清を伴う膵体尾部切除（膵原発浸潤性悪性腫瘍、NET に限る）注 a,c

血管温存膵体尾部切除注 a（血管温存とは、脾動静脈の両方を温存する場合を指す。血管を切除し脾臓のみ温存するいわゆる「Warshaw 手術」は除外する。）

膵中央切除

十二指腸温存膵頭部切除

膵頭温存十二指腸切除

Ventral pancreatectomy

下膵頭切除

Beger 手術

Frey 手術注 a

膵移植レシピエント手術

膵移植ドナーの膵切除

注:

a.高難度肝胆膵外科手術定義適用時期について

以下の4術式に関しては、2023年より新しい定義に従った申請を可能とする。

- ・ 拡大胆摘以上の肝切除とリンパ節郭清を伴う胆嚢癌手術
- ・ リンパ節郭清を伴う膵体尾部切除（膵原発浸潤性悪性腫瘍、NETに限る）
- ・ 血管温存膵体尾部切除
- ・ Frey 手術

ただし、新しい定義に従った症例は2022年1月1日の症例から有効とし、2021年12月31日の症例までは旧定義での審査を行う。

また、新しい定義で除外される手術（膵体尾部切除+2群リンパ節郭清を行ったが術後病理で良性が判明した症例など）は、2022年12月31日までの症例は認めるが、その後は認めない。

b. 術後病理検査でT2以上と診断されることを必須とする。

肝床（胆嚢床）切除以上の肝切除を必須とする。

\*単純胆嚢摘出術の術後病理診断で胆嚢癌 T2以上と判明し、追加切除として肝部分切除+リンパ節郭清を行う場合も当該再手術を高難度手術と認める。

c. 術後病理検査で周囲組織への浸潤性伸展を有する悪性腫瘍、もしくはNETと診断されることを必須とする。

含まれる腫瘍、含まれない腫瘍を下記に例示する。

含む：浸潤性IPMC・浸潤性ITPN・浸潤性膵管癌・腺房細胞癌・NET

含まない：SCN・MCN・浸潤性の無い膵管内腫瘍・PanIN・SPN・膠芽腫膵芽腫・非上皮性腫瘍

第15条 手術調査書の提出 抜粋

修練施設は、毎年経験した高難度肝胆膵外科手術症例について、毎年2月末までに定められた期間内に調査書を修練施設認定委員会へ提出する。なお、肝亜区域切除症例がある場合のみ、はその手術記録(写)および術中写真を、2022年1月1日より追加となる高難度非系統的肝切除症例がある場合は本施行細則第8条に定めてある内容に従い切除標本の最大割面の写真および切除標本の写真と術前画像(CTまたはMRI)を添付する。また、2022年1月1日以降の拡大胆摘以上の肝切除とリンパ節郭清を伴う胆嚢癌手術および膵体尾部切除症例については、病理報告書の提出を必須とする。を修練施設認定委員会へ提出する。その他調査書に記載した高難度肝胆膵外科手術については、修練施設認定委員会より、手術記録(写)の提出を求められることがある。

## 第 16 条 手術記録（写）の提出（抜粋）

高度技能専門医審査においては、2012 年 1 月 1 日以降の症例では、高度技能専門医または高度技能指導医の名前が術者または助手欄に記載されていなければならない。手術記録(写)も審査対象であるため、高度技能専門医新規申請において、高度技能専門医申請者が術者の場合は自らが手術記録を記載すること。2017 年 1 月 1 日以降の手術記録(写)については、申請者が術者の場合スケッチも必ず術者が記載すること。術者欄に複数の名前が記載されている場合は、それぞれの術者の担当箇所を別紙に記載して提出することを必須とする。

## 第 19 条 高度技能専門医認定および更新、ならびに高度技能指導医認定および更新のための本学会学術集会・教育プログラム参加点数取得基準

- 1) 高度技能専門医新規申請：申請日前年の 12 月 31 日までの 7 年間に 20 点以上。なお、2028 年以降は学術集会参加点数 2 点（2 点のうち 1 点は現地参加が必要）を必ず含むこと。
- 2) 高度技能指導医申請：申請前年の 12 月 31 日までに 20 点以上。ただし、2012 年の申請までは必要としない。
- 3) 高度技能専門医および高度技能指導医更新申請：任期が発生した年の 1 月 1 日から申請日前年の 12 月 31 日までの 5 年間で 20 点以上。なお、2028 年以降は学術集会参加点数 2 点（2 点のうち 1 点は現地参加が必要）を必ず含むこと。

また、高度技能専門医申請においては、「高度技能専門医申請における注意事項（書類編）」「高度技能専門医申請における注意事項（ビデオ編）」としてホームページに掲載していたが、これらを認定基準に変更したので、より厳格に審査に反映されることになる。

## 6: 本学会運営と活動

### <1> 会員数

2024 年3月31日現在： 3, 504名

2024 年4月1日以降 2025 年3月31日まで

新入会： 157名

退 会： 172名

本人申出\_59名

逝 去\_4名

強制退会\_109名

2025 年3月31日現在： 3, 489名

内 訳 名誉理事長\_3名

名誉会員\_52名

特別会員\_81名

評議員\_1, 555名

Japan HPB passport (評議員)\_108名

正会員\_1, 688名

<2> 物故者(2024.4.1~2025.3.31 に事務局に届出があったもの)

小林 迪夫 (特別会員)  
榊原 宣 (特別会員)  
羽鳥 隆 (評議員)  
三村 久 (特別会員)

## 7: 各種委員会等

本学会が目的とする事業を達成するため下記委員会において調査研究、機関誌の発刊、学術集会の開催、専門医制度の運営、関係機関に対する要望・協議、提言、その他について検討した。

- ・将来検討委員会(委員長 大塚将之)
- ・財務委員会(委員長 江口英利)
- ・編集委員会(委員長 大塚将之)
- ・高度技能専門医制度委員会(委員長 永野浩昭)
- ・技術認定委員会(委員長 波多野悦朗)
- ・修練施設認定委員会(委員長 庄 雅之)
- ・高度技能専門医書類審査委員会(旧:高度技能専門医・指導医資格認定委員会)(委員長 藤井 努)
- ・学術・教育委員会(旧:Scientific Committeeと教育委員会が合併)(委員長 武富紹信)
- ・規約委員会(委員長 江口 晋)
- ・倫理委員会(委員長 力山敏樹)
- ・国際交流委員会(委員長 江口 晋)
- ・評議員選考委員会(委員長 岡野圭一)
- ・保険診療委員会(委員長 板野 理)
- ・学会賞選考委員会(委員長 齋浦明夫)
- ・利益相反委員会(委員長 里井壯平)
- ・安全管理委員会(委員長 丸橋 繁)
- ・転移性肝がん国際診療ガイドライン委員会(委員長 長谷川 潔)
- ・胆道癌診療ガイドライン委員会(委員長 大塚将之)
- ・胆道癌登録委員会(委員長 副島雄二)
- ・胆道癌取扱い規約委員会(委員長 江畑智希)
- ・プロジェクト委員会(委員長 中村雅史)
- ・国際合同プロジェクト委員会(委員長 中村雅史)
- ・Japan Chapter(A-P HPBA/IHPBA)(委員長 長谷川 潔)
- ・内視鏡外科関連委員会(委員長 中村雅史)
- ・肝臓移植外科関連委員会(委員長 波多野悦朗)
- ・広報委員会(委員長 永川裕一)
- ・地域教育セミナー委員会(委員長 大塚隆生)

## 8: 各種委員会活動まとめ

- ・ 本学会の協力学会である IHPBA (International Hepato-Pancreato-Biliary Association) の第 16 回 Congress が 2024 年 5 月 15 日~18 日に Cape Town, South Africa で開催された。
- ・ Observership to Japan アジア人医師受け入れ留学制度により、2024 年度の Observer3 名

が下記のように決定した。

1) Dr. Amir Mushtaq Parray (India 38 歳, Male)

(Consultant, BLK Max Super Specialty Hospital)

施設: 名古屋大学(指導者:江畑智希)、修練期間:2025 年 5 月~7 月

2) Dr. Luisa Carmela Bragais (Philippines 35 歳, Female)

(Affiliate Surgeon, Division of Hepatobiliary and Pancreatic Surgery,  
Philippine General Hospital)

施設: 広島大学(指導者:大段秀樹)、修練期間:2025 年 3 月 21 日~6 月 15 日

3) Dr. Kaival Gundavda (India 33 歳, Male)

(Senior Fellow, Hepatobiliary pancreatic and Gastrointestinal Surgical Oncology,  
Tata Memorial Hospital, Mumbai)

施設: 東京女子医科大学(指導者:本田五郎)、修練期間:2025 年 9 月 1 日~11 月末

- 2024 年 3 月 21 日、ソウル(韓国)の HPB Surgery Week2024 会期中に「Korea-Japan Educational Collaboration Session for young HBP surgeons」が開催され、本学会 Next Generation Project (NGP) WG メンバーが参加し、日韓のシステムや若手肝胆膵外科医の現状などについて意見交換を行った。
- 2024 年 6 月 28 日、広島(日本)の第 36 回学術集會会期中に、「Meet the Japan-Korea U-45 HBP Surgeons; Past, Present, and Future」を開催した。
- 2024 年 6 月 19 日、Next Generation Project (NGP) WG メンバーによる Web セミナーを開催した。

テーマ: 医師の働き方改革始動! 何が変わったのか? 変わるのか?

肝胆膵外科医のプロフェッショナルリズムとワークインライフ

- 2024 年 6 月 28 日社員総会にて、各種授賞式を行った。(敬称略)

査読者賞(28 名)

1 位 橋本 大輔(関西医科大学)

2 位 田中 真二(東京科学大学(旧:東京医科歯科大学))

3 位 山本 健治郎(東京医科大学)

他 25 名

高田賞(2 名)

5-years citation award:

横江 正道 (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院)

“Tokyo Guidelines 2018: diagnostic criteria and severity grading of acute cholecystitis (with videos)”

(Volume25, Issue1, Pages 41-54)

2-years citation award:

殿塚 亮祐 (東京医科大学)

“Deep learning analysis for the detection of pancreatic cancer on endosonographic images: a pilot study”

(Volume28, Issue1, Pages 95-104)

椰野 正人 (愛知県がんセンター)

“Clinical practice guidelines for the management of biliary tract cancers 2019:  
The 3rd English edition”

(Volume28 Issue1, Pages 26-54)理事長賞(3名)

学会賞(2名)

1位 萩原 慶(群馬大学大学院 医学系研究科)

“A new liver regeneration molecular mechanism involving hepatic stellate cells, Kupffer cells, and glucose-regulated protein 78 as a new hepatotrophic factor”

(2023 February; Vol.30, Issue 2, Pages:165-176)

2位 深澤 美奈(富山大学附属病院 消化器・腫瘍・総合外科)

“Efficacy of staging laparoscopy for resectable pancreatic cancer on imaging and the therapeutic effect of systemic chemotherapy for positive peritoneal cytology”

(2023 November, Vol.30, Issue 11, Pages:1261-1272)

- 2024年6月28日社員総会にて、名誉理事長・名誉会員・特別会員が推戴された。  
(敬称略)  
名誉理事長推戴: 山本 雅一  
名誉会員推戴: 高田 泰次、中郡 聡夫、山上 裕機  
特別会員推戴: 別府 透  
海外名誉会員: René Adam MD, PhD (France)
- 2024年6月28日社員総会にて、評議員選考委員会および理事会の審査を経て、2024年度新評議員として98名が選任された。
- 2024年度NCDデータを利用した消化器外科領域研究課題研究について、プロジェクト委員会および理事会の審査を経て、下記の2題が採択された。(敬称略)  
研究代表者: 板野 理(国際福祉大学)  
「高齢者脾切除における低侵襲手術のPSに与える影響」  
研究代表者: 金澤 景繁(東京医科大学)  
「課題名: 高難度腹腔鏡下肝切除術の短期成績に関する検討」
- 2024年度公募プロジェクト研究については、プロジェクト委員会および理事会の審査を経て、下記2題が採択された。(敬称略)  
研究代表者: 藤井 努(富山大学)  
「術前補助化学療法(NAC-GS)を施行した解剖学的切除可能膵癌における術後早期再発の予測因子を検討する全国多施設後方視的検討」  
研究代表者: 波多野 悦朗(京都大学)  
「高度技能専門医認定審査データを用いたAI手術技能評価モデルの構築」
- 2024年度、7地区(北海道、東北、関東、中部、関西、中国・四国、九州)で地域教育セミナーを開催した。
- 2024年11月25日理事会にて、調査委員会より、高度技能専門医書類審査委員会内にて内規第10条の秘密保持に抵触した件が、懲戒に関する規則(定款細則第3号)の第2条(1)法律又は本会会則、規則などに違反したときに該当し、同第3条に記された懲戒に値する可能性があると判断し、外部員を含め複数回の審議、および対象会員への聴聞を行ったことが報告された。結果、理事会は対象会員に対し、「厳重注意」することが決議された。
- 2024年11月25日理事会にて、2025年に開催する社員総会はウェビナーによる開催とすることが決議された。

## 9: その他

2024年6月28日社員総会にて、2027年第39回本学会学術集会会長として、

力山敏樹理事(自治医科大学総合医学2 一般・消化器外科 教授、  
自治医科大学附属さいたま医療センター 一般・消化器外科 科長)が就任  
することが承認された。

会期:2027年6月25日～6月26日(予定)

会場:さいたま市(パレスホテル大宮、ソニックシティ他(予定))

## 10: 開催理事会・社員総会について

=理事会=

(定例)日時:2024年5月2日(木)16時00分～19時00分

形式:Web

(臨時)日時:2024年5月29日(水)17時00分～18時30分

形式:Web

(臨時)日時:2024年6月16日(日)13時00分～15時00分

形式:Web

(定例)日時:2024年6月27日(木)16時00分～18時00分

形式:対面(リーガロイヤルホテル広島3階「安芸の間」)

(役員変更後、新理事会)日時:2024年6月28日(金)18時30分～19時00分

形式:対面(エディオンピースウイング広島 1階 大会運営室2)

(臨時)日時:2024年9月27日(金)17時30分～19時00分

形式:Web

(定例)日時:2024年11月25日(月)17時00分～19時30分

形式:Web

=社員総会=

日時:2024年6月28日(金)17時00分～19時00分

形式:対面(エディオンピースウイング広島 スタジアム・ピッチ)

以上